

山梨学習センター

2019年度

利用の手引



清春芸術村（北杜市）



放送大学
山梨学習センター

学習センター利用の手引

目次

所長あいさつ	1
学習センター利用案内	2
視聴学習・図書室の利用	4
図書の利用	6
放送教材（DVD・CD）の貸出	7
施設の案内	10
面接授業・単位認定試験	11
各種手続き・証明書の発行	12
住所等の変更、学生証の発行、各種証明書の発行	
学割証の発行、学生教育研究災害傷害保険への加入	
学習相談等	13
学習相談、サークル活動	
学習センターパソコン	
単位修得までの流れ	14
学 部	
大学院修士課程	
2019年度学年暦	16
情報システム等の利用	22
システムWAKABA（教務情報システム）	
山梨学習センターホームページ・山梨学習センター教職員	23
2019年度単位認定試験時間割（学部）	24
2019年度単位認定試験時間割（大学院）	28
2019年度カレンダー	30
案内図	31

放送大学シンボルマーク

製作 永井一正 氏



- 1 知識を吸収し、集約し、人格形成され、外に向かって上昇していくことを表す。
- 2 多数の人々の教育を受ける機会を表す。
- 3 白は知識の吸収を、ブルーは人格の形成を表す。

好きなことができる幸せ

放送大学山梨学習センター 所長

平山公明



新しい年度が始まりました。学生の皆さんは、自分はどんな勉強をどれだけしようということを読み描かれていることと思います。皆さんの学習が順調にはかどるように、学習センターの教職員一同努力する所存です。通信教育を通しての学習は、一人での戦いになりがちです。たまには学習センターを訪ねて、「〇〇（授業科目名）の単位をすでに取得した方で学習相談にのってくれそうな方を紹介できませんか」などと話してみると、新しい展望が開けるかもしれません。

トミー・エマニュエルというオーストラリアのギタープレーヤーがいます。この方は伴奏者なしの独演者です。彼は、「自分は世界一幸福な人間だと思う。なぜなら、好きなことをすることで生計をたてているから（I get to make a living doing what I love.）」と言っています。好きなことをすることで生計をたてることができる。これは幸せの大きな側面のように思います。「努力をすればいつか必ず報われる」はよくききますが、自分のことを振り返ってみても、エマニュエルさんのような話は、学校の先生からも、親からも、言われたことはないように思います。ところが私のアメリカ人の友人は、「好きなことをすることが職業になれば、それが一番幸せだ。そのために勉強をするのだ」と言っていました。私たちは、好きなことをして生計を立てるなどという実現可能性が小さいことに目を向けられないような教育を、小さい時から受けてきているのかもしれない。

「息子が大学を除籍になりアルバイト生活をしている。何も話してくれず何を考えているのかわからない」という相談に対して小説家が、「私がみんなと同じではない道を歩み始めた時、両親はとまどったが、やがて、『我々には理解できないが、子供にはやりたいことがあるのだろう』と思うようになった。彼らも、実はやりたいことができなかった人生を歩んできたからです。息子さんにはしたいことがあるかもしれないから、見守ってあげてほしい」と回答していました。多くの人は、したいことができない生涯か、したいことがわからないままの生涯を過ごします。「しなければならない」あるいは、「してはいけない」に囲まれて過ごします。好きなことを職業にしている幸せな人はごく少数でしょう。

ところで、放送大学での学びは通学生の学びとは異なり、したいことをする、ということの一つのチャンスだと思います。放送大学には300科目の放送授業の他に、多くの面接授業も用意されています。その中からご自分の学びたい科目を選ぶことができます。学びたいことを学ぶことができたとしたら、それはなんとすばらしいことでしょう。振り返ったとき、「自分の好きなことを勉強できた」、「やりたいことを学ぶことができた」などと思えたなら、それが生計を立てることに直接繋がらなくても、大きな財産になるのではないのでしょうか。

放送大学での学習が豊かな心の醸成につながることを願っています。

学習センター利用案内

学習センターは、学習の場、交流の場として、充実した学生生活を送るための施設です。
この利用の手引きをよく読んでいただき、積極的に利用してください。

学習センターを利用できる人 ■

- (1) 本学の学生
- (2) 学習センター所長が特に認めた者

学習センターの業務 ■

- (1) 面接授業の実施
- (2) 単位認定試験の実施
- (3) 図書及び再視聴設備の提供
- (4) 証明書の発行
- (5) 学習相談
- (6) 奨学生の募集
- (7) 学生旅客運賃割引証の発行（全科履修生・修士全科生）
- (8) 学生教育研究災害傷害保険の取扱

開所日と利用時間 ■

区 分		センターの開所時間	視聴学習・図書室の利用時間
通常期間		9:30 ~ 18:00	9:30 ~ 18:00
単位認定試験期間		9:00 ~ 19:00	9:00 ~ 19:00
開所日	毎月曜日 国民の祝日に関する法律に定める祝日 年末年始（12月29日～1月3日） その他学長又は学習センター所長が特に必要と認めた日		
備 考	(1) 放送教材及び図書の室内利用申込みは、利用時間終了の30分前迄です。 (2) 視聴学習・図書室の利用時間は、都合により変更することがあります。 (3) 視聴学習・図書室は、資料の整理や機器の点検整備などのため、臨時に閉室することがあります。		

※学習センターの開所日及び利用時間は、学習センター毎に地域の実情に応じて異なりますので、所属以外の学習センターをご利用の際はご注意ください。

施設利用上の注意事項 ■

【1】学生証

学生証は、放送大学学生であることを証明するものであり、視聴学習・図書室の利用及び単位認定試験の受験等、学習センターを利用する場合に必要ですので、常に所持してください。

【2】ロッカー

学習上必要とする教材以外の所持品は、ロッカーを利用し、視聴学習・図書室内へは持ち込まないでください。

ロッカーは1階の視聴学習・図書室の入口及び2階の講義室2の入口の2箇所にあります。2階の講義室2の入口のロッカーはコイン式です。（100円硬貨を投入して使用し、使用後は戻ります。）

ロッカーの利用は当日限りです。ロッカーの鍵を紛失した場合は、実費を弁償していただきます。

【3】電 話

外部からの電話による呼び出しには、原則として応じられません。外部への電話は、山梨大学甲府キャンパス内の公衆電話を利用してください。

【4】駐車場

本センターには専用駐車場はありません。ただし、山梨大学の専用駐車場を利用することができます（駐車料金200円）。甲府駅からセンターまで徒歩約20分です。バス利用の場合は、甲府駅北口山梨交通バス停から「武田神社行」又は「積翠寺行」に乗りし、「山梨大学」で下車してください（所要約5分、20～30分間隔運行）。

【5】忘れ物・拾得物

学習センター内での忘れ物・拾得物は、事務室に届け出てください。

【6】保健

身体に不調をおぼえた場合は、事務室へ申し出てください。

【7】その他

山梨大学の施設のうち、本学学生が利用できるのは山梨大学附属図書館、厚生会館、大学会館（食堂）、面接授業の際に使用する施設等です。これ以外の施設には、立ち入らないようにしてください。

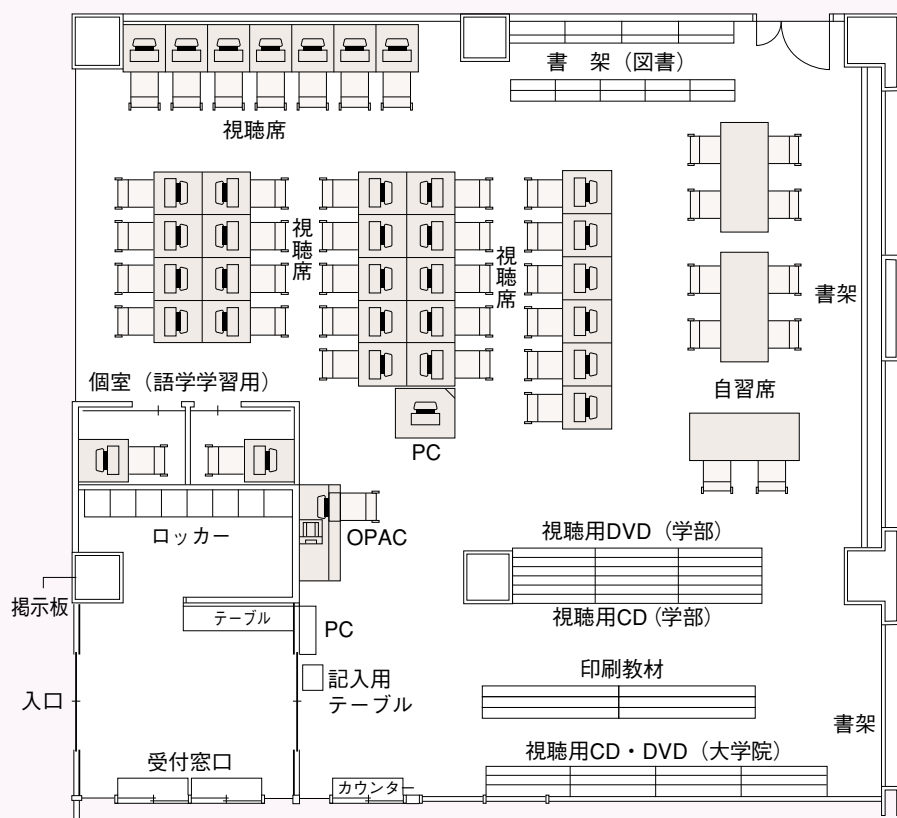
視聴学習・図書室の利用

視聴学習・図書室には、放送授業を再視聴できる設備があります。

Wi-Fi環境が整っていますので「無線LAN利用申請書」を提出することにより、個人の持ち込みパソコンを利用して放送授業を視聴することもできます。

視聴学習・図書室案内図 ■

視聴学習・図書室



174m²

視聴学習・図書室の利用方法 ■

視聴学習・図書室への所持品の持ち込みは、学習上必要な筆記用具、テキスト（印刷教材）、ノートのみとし、カバン、袋類等（貴重品は除く）はロッカーに入れてください。

携帯電話はマナーモードなどに切り替えてください。

■ 放送教材の利用手順

①受付窓口で「学生証」を呈示し、「視聴学習・図書室放送教材利用票」を持って入室する。



②放送教材を棚から取り出して、視聴席で視聴する。
（放送教材の保管場所は、棚側面の放送教材の配置表をご覧ください。）



③視聴を終えた放送教材は元の棚へ戻す。



④「視聴学習・図書室放送教材利用票」に利用した放送教材の内容を記入する。



⑤「視聴学習・図書室放送教材利用票」を提出して退出する。

（注）○視聴席は自由席とします。

○視聴席への着席は受付順とし、曜日・時間の指定・予約はできません。

○個室（2席）の使用は、発音練習等をとまなう外国語科目の学習に限りです。

○通常座席での発音練習や私語は、他の方の迷惑となりますので控えてください。

○視聴機器の操作は、備え付けの操作手順書に従ってください。誤った操作をしますと放送教材を破損したり機器の故障の原因となります。不明の点は事務室にお尋ねください。

図書の利用

図書室には印刷教材、辞典・年鑑の参考図書、授業に関連した基本的図書・雑誌等があります。

図書資料の利用 ■

図書室内で資料を閲覧することができます。閲覧後は元の書架に戻してください。
学習センター所蔵資料は貸出しはできませんが、放送大学図書館より取り寄せた資料の貸出・返却は扱っております。

文献複写 ■

図書資料の複写を希望するときは「文献複写申込書」に所定の事項を記入し、複写したい図書資料とともに受付窓口に提出してください。

複写料は、モノクロ1枚10円、カラー 1枚50円です。

なお、複写する場合、著作権法により次の制限があります。

- ①図書室にある図書資料であること。②学習上、研究上必要なものであること。
- ③著作物の一部であること。④一人につき一部であること。

放送大学附属図書館の利用 ■

OPAC（図書資料の検索用端末機）により、放送大学附属図書館および他の大学の蔵書、雑誌等の検索ができます。利用を希望する図書資料等がある場合は、OPACから貸出・複写を申し込むことができます。「文献複写申込書」に必要事項を記入して、学習センター受付窓口に提出する方法もあります。詳細は受付窓口へお尋ねください。

山梨大学附属図書館の利用 ■

山梨大学附属図書館の図書資料について、閲覧・複写のサービスが受けられます。館外貸出しについては、山梨大学附属図書館で「図書館利用証」の交付を受け、貸出しを受けることができます。

放送教材（DVD・CD）の貸出

BS放送が受信できない又はインターネット環境がない等、ご家庭等に放送授業を視聴する環境がない場合でも、放送教材（DVD・CD）を郵送にて放送大学本部からご自宅に取り寄せることができます。

貸出しできる放送教材 ■

- （１）学期の初めから単位認定試験期間終了まで
 - ・履修している科目
 - ・再試験を受験する科目
 - ・特別講義
- （２）単位認定試験期間の翌日からその学期終了まで
 - ・開講中（１学期は閉講後再試験科目を含む）の全ての科目
 - ・特別講義

貸出期間・貸出数 ■

- （１）本州に在住の学生
14日間、5巻以内。
- （２）本州以外に在住の学生
18日間、5巻以内。
※上記の日数には、放送大学本部からの発送日および返却到着日を含みます。

貸出方法 ■

放送教材貸出申込書を「郵送」又は「FAX」してください。「インターネット」による申込みもできます。なお、お電話での申込みは、一切受け付けできません。放送大学本部からの郵送方法は第四種郵便のみとし、送料は往復分とも貸出申込者（学生）負担となります。

放送教材の郵送貸出し申込みから返却までのながれ ■

a 申込みに必要なもの

- i) 放送教材郵送貸出申込書（※申込書は、「学生生活の栞」の巻末の様式をA4に拡大コピーまたはシステムWAKABA「キャンパスライフ→各種届出・申請様式」からダウンロードしてください）
- ii) 送料分の切手（※郵便料金は料金表を参照してください）
 - ・郵送申込みの場合：申込書と一緒に切手を貼付してください。
 - ・FAX申込みの場合：放送教材返送時に切手を同封してください。
 - ・インターネット申込みの場合：放送教材返送時に切手を同封してください。



- ### b 放送大学本部:学習センター支援室 放送教材郵送貸出担当 から放送教材を発送
- ※申込受付順に放送教材を確認して発送します。



- ### c 視聴後、放送大学本部:学習センター支援室 放送教材郵送貸出担当 へ返送
- ・郵送された際に同封されていた申込書のコピーも放送教材と一緒に返送してください。
 - ・新たに放送教材貸出しの申込みを行う場合は、新規に貸出申込書を作成し、送料分の切手を貼付してください。

第四種郵便（通信教育用）料金表

教材の枚数目安 (DVD・CD共通)	重さ	第四種郵便料金	速達料金合計
1枚	～100g	15円	295円
2枚	101g～200g	25円	305円
3～4枚	201g～300g	35円	315円(3枚)
			415円(4枚)
5枚	301g～400g	45円	425円

※送料は送付物の重さによって料金表と異なる場合があります。

※速達料金合計は第四種郵便料金を含んでいます。

※速達による郵送を希望する場合には、料金280円（250gまで）または380円（1kgまで）の切手を追加し、郵送またはFAXによる申込みの場合には申込書の「速達希望の有無」の「有」にマルを付けてください。

注意事項

- ・ 発送作業は平日に行います（土・日・祝休日および年末年始、特別整理期間（2020年3月19日～2020年3月31日）は発送しません。
- ・ 貸出した放送教材が返却されない場合や、教材の破損・紛失・料金不足などがあった場合は、貸出し禁止となることがありますので、ご注意ください。
- ・ 送料分の切手と実際の郵送料に差額が多く発生した場合でも返金はできません。

例）3巻借りる予定で、第四種郵便料金35円の切手を貼付した申込書に、「希望教材のうち、1巻でも構わないので借りる。」が選択（マル）されていた場合、結果的に2巻以下の貸出しであれば25円の送料で済みますが、10円は返送されず35円の切手で発送されます。

- ・ 貸出し放送教材の複製および第三者への貸与はできません。
- ・ 返送期限日までに必ず郵送で返却してください。
- ・ 郵送申込みを第四種郵便で行う場合は、封筒サイズを「最小（縦14cm・横9cm）～最大（縦60cm・縦と横と厚さの合計90cm）に収め」、「封筒ののりしろ部分を3分の1程度切り取り」、「文部科学省認可通信教育」と表示することで、100g以内15円となります。

申込み宛先 ■

（1）郵送による申込み

〒261-8586

千葉県美浜区若葉2-11

放送大学 学習センター支援室 放送教材郵送貸出担当

電話番号 043-276-5111（総合受付）

（2）FAXによる申込み

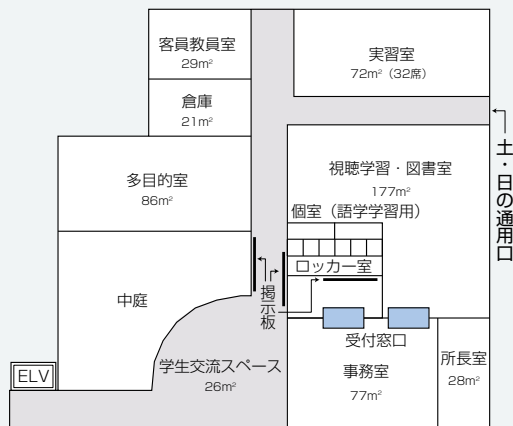
FAX番号 043-298-4510

（3）インターネットによる申込み

https://www.ouj.ac.jp/hp/BorrowDVD_v01/

施設の案内

1F



■ 受付窓口

視聴学習・図書室等の利用及び履修に関することや、各種手続き、諸証明書の発行等を行います。

■ 視聴学習・図書室

放送教材の個別視聴及び図書資料の閲覧に利用できます。

■ 実習室

コンピュータ利用及び実験を含む面接授業等に使用します。

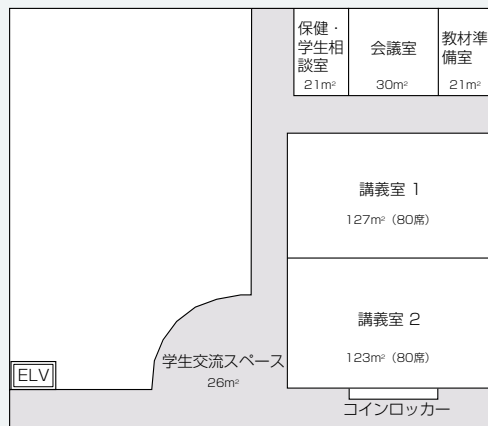
■ 多目的室

面接授業及びサークル活動などに使用します。

■ 学生交流スペース

休憩、談話等に利用できます。

2F



■ 講義室1・講義室2

面接授業、単位認定試験及び公開講座等に使用します。

■ 保健・学生相談室

客員教員による学生相談及び保健室等に使用します。

面接授業 ■

面接授業は学習センターで直接教員から指導を受ける授業です。学ぶという共通の目標を持った学生相互の交流や教員との直接対話で理解を深めるなど、大学ならではの有意義な授業です。

■ 実施方法

学習センター講義室等で、1科目につき90分の授業を7回、45分の授業を1回、計8回受講し、授業時間外に実施する試験・レポート等に合格すると1単位が認定されます。

■ 科目登録申請

開設科目及び登録方法の詳細については、大学本部から別途送付される「面接授業時間割表」「面接授業開設科目一覧」「科目登録申請要項」を熟読のうえ、登録を行ってください。他の学習センターの開設科目を登録申請することもできます。

■ 追加登録申請

科目登録決定後、定員に余裕がある科目については、追加登録を受け付けます。追加登録申請の受付は、希望する科目を開設する学習センター窓口で行います。この場合の申請方法は各学習センターによって異なりますので注意してください。

■ 面接授業時限 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00
(山梨学習センター) 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00

単位認定試験 ■

放送授業を科目登録して、通信指導に合格した方は、その科目の単位認定試験を受験することができます。

1. 単位認定試験は、原則として所属する学習センターで行います。
2. 各科目の試験日時は「授業科目案内」及び本冊子24頁～29頁に記載のとおりです。
3. 受験の際は、「単位認定試験通知(受験票)」と「学生証」を必ず持参してください。
なお、科目登録した学期の単位認定試験を受験した結果、不合格となった場合や仕事の都合等で受験できなかった場合は、次の学期に限り単位認定試験を受験(再試験)することができます。ただし、科目登録した学期で在学期間が終了する方は、次の学期の入学出願をして学籍を継続する必要があります。
4. 単位認定試験時間表

時限	試験時間	時限	試験時間
1	9:15～10:05	5	14:25～15:15
2	10:25～11:15	6	15:35～16:25
3	11:35～12:25	7	16:45～17:35
4	13:15～14:05	8	17:55～18:45

各種手続き・証明書の発行

在学中に、種々の手続き、証明書等が必要になることがあります。詳細については、「学生生活の栞」を参照してください。

(1) 住所等の変更 ■

現住所、連絡先の電話番号等に変更があったときは、「住所等変更届」を速やかに提出してください。

※これらの届出はシステムWAKABA（本冊子22頁参照）からも行えます。

(2) 学生証の発行 ■

学生証の発行は、写真票を大学本部に提出、又は、システムWAKABAに登録した上で、本学習センターで発行しますので、学期当初に受付窓口でお受けとりください。

なお、全科履修生の学生証は、2年ごとに発行されます。

（学生証は、原則として窓口で本人確認のうえ、交付します。必ず学生本人が受け取りに来てください。）

(3) 各種証明書の発行 ■

在学証明書、成績・単位修得証明書及び在学期間証明書等が必要な場合は、「諸証明書交付願」を受付窓口に提出してください。証明書発行手数料は1通につき200円です。

郵便で請求する場合は、手数料と返信用封筒を下記により同封して学習センターに送付してください。

- ・発行手数料（現金書留又は郵便為替〔1通につき200円の郵便定額小為替証書〕）
- ・返信用封筒（12×23.5cm）宛名明記の上、切手貼付（証明書1通分82円、2通以上は重さに応じた額の切手）

(4) 学生旅客運賃割引証(学割証)の発行 ■

教養学部全科履修生及び大学院修士全生が、自宅から学習センター又は大学本部に通学する場合に使用できます。使用できる範囲は、面接授業の受講、単位認定試験の受験、学習センターでの学習、大学が主催する学校行事への参加、卒業研究・研究指導の調査・研究のための移動等に限られます。

学割証の交付を希望する学生は、受付窓口に着てある所定の申込用紙により申し込んでください。

(5) 学生教育研究災害傷害保険への加入 ■

教育研究活動中（面接授業受講中、単位認定試験の受験中、学校行事に参加している間など）に発生する不慮の災害事故に対する補償のために、学生教育研究災害傷害保険の制度があります。万一の事故に備え、保険に加入されることをお勧めします。

保険料は100円です。加入すると加入日の翌日午前0時から起算して6年間補償の対象になります。ただし、連続して在学中であることが必要です。

(1) 学習相談 ■

学習センターでは、学習内容その他について相談日を設けています。詳しい相談時間については、受付窓口にお問い合わせください。

担当教員	相談専門分野
平山公明所長	上下水道工学・理系分野全般 (原則、毎月第2火曜日、14～15時に多目的室に控え、なんでも話題を承ります。)
熊田伸弘客員教授	無機化学
小山勝弘客員教授	健康科学・運動生理学
古家貴雄客員教授	英語科教育学
武藤慎一客員准教授	土木計画学
島弘幸客員准教授	物理学・数理科学
川島亜紀子客員准教授	心理学

(2) サークル活動 ■

放送大学では、学生の研究やスポーツ等により、お互いの親睦を深め、啓発しあうことを目的に、サークル・学生団体を結成することを認めています。

学生団体の設立等の手続は、「学生生活の栞」を参照してください。

山梨学習センターの所属学生が責任者として活動しているサークルは、次のとおりです。

あるこう甲斐、P&C (Photo&Computer) 活用研究サークル、英語サークル「ローマの休日」、太極拳サークル、山梨名作映画研究会

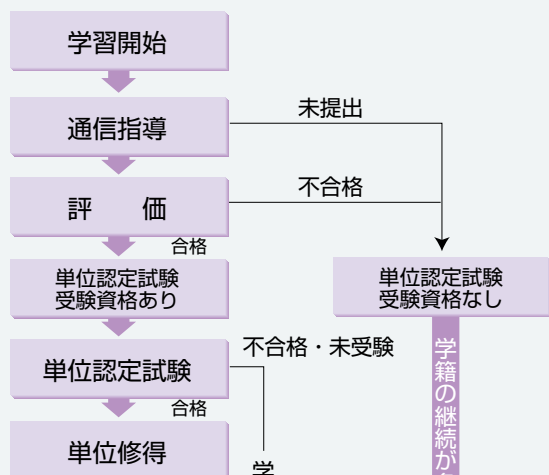
(3) 学習センターパソコン ■

学習センターに所属する学生は、視聴学習・図書室、学生交流スペースに設置してあるパソコンを利用できます。パソコンを利用するには、「ユーザ名(学生番号10桁)・パスワード」が必要です。

不明な点は受付窓口へお尋ねください。

単位修得までの流れ（学部）

今学期 ■



◎通信指導

放送及び印刷教材により行われた授業について、一定範囲の問題が出題され、その答案（レポート）の添削を通して担当教員の指導を受けること。

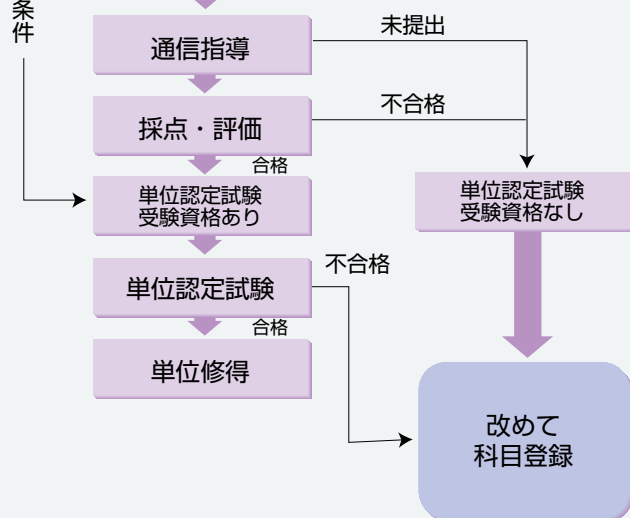
次学期 ■

◎全科履修生・次学期も学籍がある選科履修生

放送大学本部から「科目登録申請要項」が送付されますので、履修しようとする授業科目を記入して本部へ郵送してください。

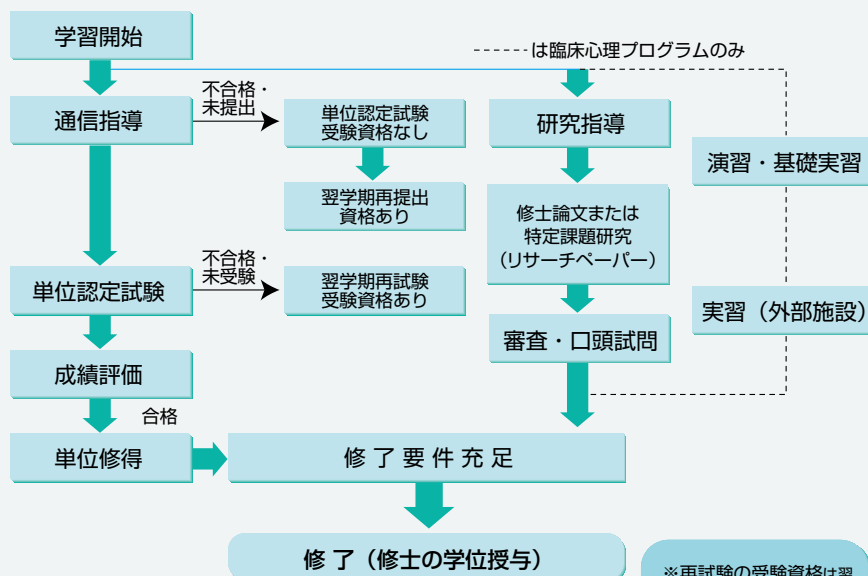
◎学籍が切れる選科履修生・科目履修生

次学期に全科履修生として入学される場合は、「全科履修生出願票」を、選科履修生・科目履修生として入学される場合は、「継続入学用出願票」を本部へ郵送してください。



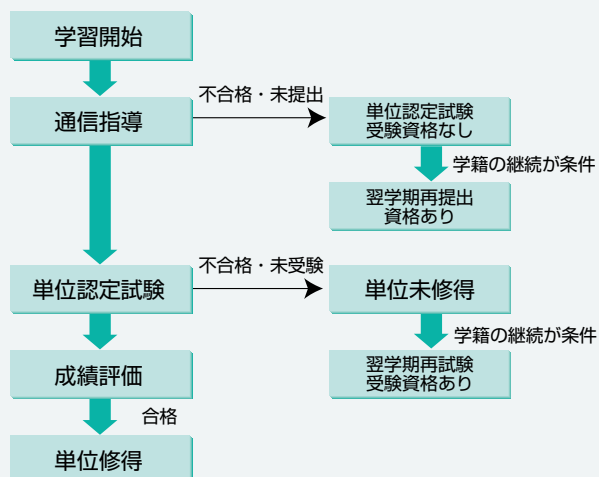
単位修得までの流れ（大学院修士課程）

修士全科目 学位取得まで ■



※再試験の受験資格は翌学期に限りです。再試験が不合格となった場合は、改めて当該の科目登録申請が必要となります。
（修士全科目・修士選科目生共通）

修士選科目・修士科目生 単位認定まで ■



◎通信指導

放送及び印刷教材により行われた授業について、一定範囲の問題が出題され、その答案（レポート）の添削を通して担当教員の指導を受けること。

第1学期

2019.4.1 ~ 2019.9.30

4 月			
日	曜	事 項	
1	月	第一学期授業開始 閉所日	放送授業期間 【4月1日～4月28日】
2	火		
3	水		
4	木		
5	金		オンライン授業 【4月5日～7月中旬】
6	土		
7	日	入学者の集い（山梨SC）	
8	月	閉所日	
9	火		面接授業期間 【4月13日～8月4日】 〈面接授業追加登録〉 （空席発表：13日） （追加登録：19日～）
10	水		
11	木		
12	金		
13	土	面接授業	
14	日	面接授業	
15	月	閉所日	
16	火		
17	水		
18	木		
19	金		
20	土	面接授業	連休学習期間 【4月29日～5月2日】
21	日	面接授業	
22	月	閉所日	
23	火		
24	水		
25	木		
26	金		
27	土		
28	日		
29	月	閉所日（昭和の日）	
30	火	閉所日（国民の休日）	

5 月			
日	曜	事 項	
1	水	閉所日（即位の日）	放送授業期間 【5月3日～7月18日】
2	木	閉所日（国民の休日）	
3	金	閉所日（憲法記念日）	
4	土	閉所日（みどりの日）	
5	日	閉所日（こどもの日）	
6	月	閉所日	
7	火		
8	水		
9	木		
10	金		
11	土	面接授業	
12	日	面接授業	
13	月	閉所日	
14	火		
15	水		
16	木		
17	金		
18	土	面接授業	
19	日	面接授業	
20	月	閉所日	
21	火		
22	水		
23	木		
24	金		
25	土		
26	日		
27	月	閉所日	
28	火		
29	水		
30	木		
31	金		

（備考）面接授業は、山梨学習センターで開設する面接授業

6 月		
日	曜	事 項
1	土	面接授業
2	日	面接授業
3	月	閉所日
4	火	通信指導提出期限
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	閉所日
11	火	次学期出願受付期間 (学部・大学院) 【第1回】 【6月15日～8月31日】 【第2回】 【9月1日～9月中旬】
12	水	
13	木	
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	
19	水	
20	木	
21	金	
22	土	面接授業
23	日	面接授業
24	月	閉所日
25	火	単位認定試験通知 (中旬)
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	

7 月			
日	曜	事 項	
1	月	閉所日	
2	火	次学期出願受付期間 (学部・大学院) 【第1回】 【6月15日～8月31日】 【第2回】 【9月1日～9月中旬】	
3	水		
4	木		
5	金		
6	土		面接授業
7	日		面接授業
8	月		閉所日
9	火	単位認定試験通知 (中旬)	
10	水		
11	木		
12	金		
13	土		
14	日		
15	月		閉所日（海の日）
16	火	夏期学習期間＝再放送等 【7月19日～9月30日】	
17	水		
18	木		
19	金		単位認定試験（大学院）
20	土		単位認定試験（大学院）
21	日		単位認定試験（学部）
22	月		閉所日
23	火	単位認定試験（学部）	
24	水	単位認定試験（学部）	
25	木	単位認定試験（学部）	
26	金	臨時閉所日	
27	土	単位認定試験（学部）	
28	日	単位認定試験（学部）	
29	月	閉所日	
30	火	臨時閉所日	
31	水		

（備考）次学期出願受付期間の（大学院）は、修士選科生、修士科目生対象

8 月			
日	曜	事 項	
1	木	次学期出願受付期間 (学部・大学院) 【第1回】 【6月15日～8月31日】 【第2回】 【9月1日～9月中旬】	
2	金		
3	土		
4	日		
5	月		閉所日
6	火		
7	水		
8	木		
9	金		
10	土		
11	日		閉所日（山の日）
12	月		閉所日
13	火		臨時閉所日
14	水		臨時閉所日
15	木		臨時閉所日
16	金	次学期科目登録申請 受付期間（在学生） （郵送）【8月15日～30日】 （Web）【8月15日～31日】 大学院博士全科生・修 士全科生出願受付期間 【8月15日～26日】	
17	土		
18	日		
19	月		閉所日
20	火		単位認定試験成績通知
21	水		
22	木		
23	金		
24	土	教員免許更新講習修了 認定試験	
25	日	教員免許更新講習修了 認定試験	
26	月	閉所日	
27	火		
28	水		
29	木		
30	金		
31	土		

9 月			
日	曜	事 項	
1	日	次学期出願受付期間 (学部・大学院) 【第2回】 【9月1日～9月中旬】	
2	月		閉所日
3	火		
4	水		
5	木		
6	金		
7	土		臨時閉所日 (山梨大学西キャンパス停電)
8	日		
9	月		閉所日
10	火		
11	水		
12	木		
13	金		
14	土		
15	日		看護試験通知 (中旬)
16	月	閉所日 (敬老の日)	
17	火		
18	水		
19	木		
20	金		
21	土		
22	日		
23	月	閉所日 (秋分の日)	
24	火		
25	水		
26	木		
27	金	単位認定試験 (看護)	
28	土	単位認定試験 (看護)	
29	日	学位記授与式・入学者 の集い (山梨SC)	
30	月	閉所日	

(備考) 次学期出願受付期間の(大学院)は、修士選科生、修士科目生対象

第2学期

2019.10.1 ~ 2020.3.31

10 月			
日	曜	事 項	
1	火	第2学期授業開始	放送授業期間 【10月1日～12月28日
2	水		
3	木		
4	金		
5	土	大学院修士全科目・博士後期課程筆記試験	オンライン授業 【10月4日～1月中旬】
6	日		
7	月	閉所日	
8	火		
9	水		
10	木		
11	金		
12	土		
13	日		
14	月	閉所日（体育の日）	
15	火		
16	水		
17	木		
18	金		
19	土	面接授業	面接授業期間 【10月19日～2月2日】 〈面接授業追加登録〉 〈空席発表：19日〉 〈追加登録：25日～〉
20	日	面接授業	
21	月	閉所日	
22	火	閉所日（即位礼正殿の儀）	
23	水		
24	木		
25	金		
26	土	面接授業	
27	日	面接授業	
28	月	閉所日	
29	火		
30	水		
31	木		

11 月			
日	曜	事 項	
1	金		
2	土		
3	日	閉所日（文化の日）	
4	月	閉所日	
5	火		
6	水		
7	木		看護成績通知
8	金		
9	土	面接授業	
10	日	面接授業	
11	月	閉所日	
12	火		
13	水		
14	木		
15	金		
16	土	面接授業	
17	日	面接授業	
18	月	閉所日	
19	火		
20	水		
21	木		
22	金		
23	土	閉所日（勤労感謝の日）	
24	日		
25	月	閉所日	
26	火		
27	水		
28	木		
29	金		通信指導提出期限
30	土	面接授業	

2019年度◆学年暦

12 月		
日	曜	事 項
1	日	面接授業
2	月	閉所日
3	火	次学期出願受付期間 (学部・大学院) 【第1回】 【12月1日～2月29日】 【第2回】 【3月1日～3月中旬】
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	閉所日
10	火	大学院第2次合否通知
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	面接授業
22	日	面接授業
23	月	閉所日
24	火	年末・年始学習期間 【12月29日～1月4日】
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	

1 月		
日	曜	事 項
1	水	閉所日 (年始)
2	木	閉所日 (年始)
3	金	閉所日 (年始)
4	土	次学期出願受付期間 (学部・大学院) 【第1回】 【12月1日～2月29日】 【第2回】 【3月1日～3月中旬】
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	
9	木	
10	金	放送授業期間 【1月5日～1月20日】
11	土	
12	日	
13	月	
14	火	
15	水	
16	木	単位認定試験通知 (中旬)
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	冬期学習期間=再放送等 【1月21日～3月31日】
23	木	
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	単位認定試験 (学部)
29	水	単位認定試験 (学部)
30	木	単位認定試験 (学部)
31	金	臨時閉所日

(備考) 次学期出願受付期間の(大学院)は、修士選科生、修士科目生を対象

2 月		
日	曜	事 項
1	土	次学期出願受付期間 (学部・大学院) 【第1回】 【12月1日～2月29日】 【第2回】 【3月1日～3月中旬】
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	閉所日
11	火	閉所日(建国記念の日)
12	水	
13	木	次学期科目登録申請 受付期間(在学生) (郵送)【2月13日～28日】 (Web)【2月13日～29日】
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	閉所日
18	火	単位認定試験成績通知
19	水	
20	木	
21	金	
22	土	
23	日	閉所日(天皇誕生日)
24	月	閉所日
25	火	
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	教員免許更新講習修了 認定試験

3 月		
日	曜	事 項
1	日	教員免許更新講習修了 認定試験
2	月	閉所日
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	閉所日
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	閉所日
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	閉所日(春分の日)
21	土	学位記授与式(予定) (NHKホール)
22	日	
23	月	閉所日
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	閉所日
31	火	

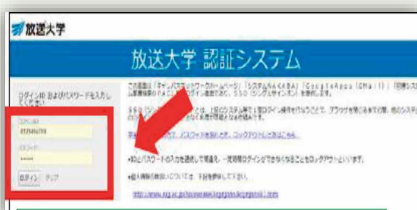
システムWAKABA（教務情報システム）■

学生の修学をサポートするため、システムWAKABA（教務情報システム）を提供しております。インターネットに接続された自宅などのパソコンからWebブラウザがあれば、システムWAKABA（教務情報システム）にアクセスできますので是非利用してください。

放送大学のホームページ
<https://www.ouj.ac.jp/>
 にアクセス

ページ右下部の
 「システムWAKABA
 （教務情報システム）」
 をクリック

ログイン（アクセス）方法



ログインID：学生番号
 パスワード：初期パスワードは生年月日（西暦）

■ システムWAKABAの主な機能（詳しくは「学生生活の葉」をご参照ください。）

①教務情報機能

- ・学籍情報、住所・連絡先情報、履修情報、単位修得状況情報、変更・異動手続、履修成績照会、科目登録申請等

②キャンパスライフ機能

- ・大学・学習センターからのお知らせ・放送・面接授業の予定、試験期間の予定、各種届出等申請様式等

③授業サポート機能

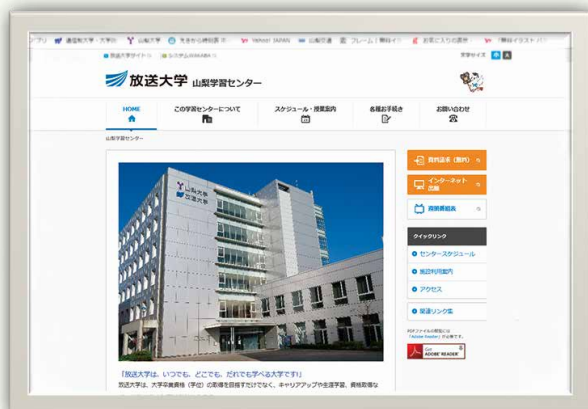
- ・インターネット配信システム、オンライン授業システム、Web通信指導システム、単位認定試験の問題・解答ページ等への各種リンク、資料室、質問箱等

※学生の皆様全員に、放送大学学園からメールアドレスが与えられますので、インターネットが利用できる環境であれば、何処からでも、メールを見たり、送ることができますようになります。

山梨学習センターホームページ■

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/yamanashi/>

HPには、面接授業、公開講座、研修旅行、緊急なお知らせなど様々な情報を載せていますので是非ご活用ください。



山梨学習センター教職員■

所 長	平山 公明（元山梨大学工学部教授）
客員教員	熊田 伸弘（山梨大学教授）
	小山 勝弘（山梨大学教授）
	古家 貴雄（山梨大学教授）
	武藤 慎一（山梨大学准教授）
	島 弘幸（山梨大学准教授）
	川島亜紀子（山梨大学准教授）

事 務 長	平出 正樹
事務職員	佐野 秀昭（教務担当）
	小澤 理（教務担当）
	南手 聡子（総務担当）
	大柴 幸司（総務担当）
	三枝 啓子（教務担当）

2019年度第1学期 単位認定試験時間割

学部

曜日 時限	7月21日 日	22 月	7月23日 火	7月24日 水
1 9:15 ～ 10:05	大学マネジメント論(14) 市民自治の知識と実践(15) ヨーロッパの歴史Ⅱ(15) 政治学へのいざない(16) 現代社会の児童生徒指導(17) 化学結合論—分子の構造と機能(17)	休 日	現代経済学(13) 教育心理学概論(14) 経験論から言語哲学へ(16) アジア産業論(17) 情報セキュリティと情報倫理(18) 都市と地域の社会学(18) 今日のメンタルヘルス(19) 現代経済学(19)	記号論理学(14) 地域と都市の防災(16) 社会福祉と法(16) 心理統計法(17) 雇用社会と法(17) 看護管理と医療安全(18)
2 10:25 ～ 11:15	日本政治外交史(13) ユーザ調査法(16) 小学校外国語教育教授基礎論(17) 現代を生かすための化学(18) 太陽と太陽系の科学(18) 日本政治外交史(19)		今日のメンタルヘルス(15) データの分析と知識発見(16) 危機の心理学(17) 初歩からの数学(18) 生活者のための不動産学への招待(18) 東南アジアの歴史(18)	人格心理学(15) Walking with Writers(16) 微分方程式(17) 現代の内部監査(17) マーケティング論(17) 日本文学における古典と近代(18)
3 11:35 ～ 12:25	問題解決の進め方(12) 国際ボランティアの世紀(14) ヨーロッパの歴史Ⅰ(15) 新しい時代の技術者倫理(15) ロシアの政治と外交(15) 文学批評への招待(18) 問題解決の進め方(19) 情報化社会と国際ボランティア(19) 文学・芸術・武道にみる日本文化(19)		技術マネジメントの法システム(14) 貧困と社会(15) 初級簿記(16) 交通心理学(17) 物理の世界(17) 社会福祉実践の理論と実際(18) 人間にとって貧困とは何か(19)	博物館資料保存論(12) ドイツ語Ⅱ(15) 環境の可視化(15) 生活経済学(16) 運動と健康(18) フランス語Ⅱ(18) ドイツ語Ⅱ(19) 博物館資料保存論(19)
4 13:15 ～ 14:05	社会と銀行(14) 教育学入門(15) 日本の近現代(15) 非ユークリッド幾何と時空(15) 日本政治思想史(17) 地域福祉の現状と課題(18)		ドイツ語Ⅰ(15) 英語で描いた日本(15) 韓国語Ⅱ(16) 初歩のイタリア語(17) 中国語Ⅰ(18) ドイツ語Ⅰ(19)	計算事始め(13) 国際法(14) 日本語概説(15) カリキュラムと学習過程(16) 遠隔学習のためのパソコン活用(17) 戦後日本教育史(18) 国際法(19) 計算の科学と手引き(19)
5 14:25 ～ 15:15	世界の中の日本(15) 生活環境と情報認知(15) 学校と法(16) パレスチナ問題(16) 権力の館を考える(16) 現代の国際政治(18)		国際経営(13) 量子と統計の物理(15) 宇宙とその進化(15) 認知症と生きる(15) 世界文学への招待(16) 初歩からの物理(16) 国際経営(19) 宇宙の誕生と進化(19)	グローバル化と日本のものづくり(15) 生活における地理空間情報の活用(16) ソーシャルシティ(17) 疾病の回復を促進する薬(17) 日常生活のデジタルメディア(18) レジリエンスの諸相(18) グローバル化と日本のものづくり(19)
6 15:35 ～ 16:25	国際理解のために(13) 南北アメリカの歴史(14) 英語で読む科学(15) 社会福祉の国際比較(15) フードシステムと日本農業(18) 哲学・思想を今考える(18) 国際理解のために(19) 社会保障の国際動向と日本の課題(19) 漢文の読み方(19)		統計学(13) 認知行動療法(14) ダイナミックな地球(16) 日本語アカデミックライティング(17) 舞台芸術の魅力(17) 初歩からの生物学(18) 統計学(19)	心理学研究法(14) 移動と定住の社会学(16) 刑事法(16) 比較認知科学(17) 日本仏教を捉え直す(18) デジタル情報の処理と認識(18) 健康への力の探究(19)
7 16:45 ～ 17:35	事例から学ぶ日本国憲法(13) ヨーロッパ文学の読み方—古典篇(14) 看護学概説(16) 化学反応論—分子の変化と機能(17) 地域コミュニティと教育(18) グローバル化時代の日本国憲法(19)		リハビリテーション(13) 社会心理学(14) アルゴリズムとプログラミング(16) 音を追究する(16) メディア論(18) 行政法(18) リハビリテーション(19)	市民のための健康情報学入門(13) 災害看護学・国際看護学(14) 進化する情報社会(15) 現代日本の政治(15) 発達生活の先人たち(16) 線型代数(17) 経営学概論(18) 現代日本の政治(19)
8 17:55 ～ 18:45	分子分光法(15) 韓国朝鮮の歴史(15) 西洋哲学の起源(16) 日本美術史の近代とその外部(18) 生理心理学(18) 量子化学(19)		数値の処理と数値解析(14) 環境と社会(15) 多様なキャリアを考える(15) 乳幼児心理学(16) NPOマネジメント(17) 初歩からの宇宙の科学(17)	数学の歴史(13) 情報化社会と教育(14) 映像コンテンツの制作技術(16) コンピュータの動作と管理(17) 子ども・青年の文化と教育(17) 食と健康(18) 数学の歴史(19)

* 赤字は2018年度開講科目

* 青字は2019年度新規開講科目

看護師養成所で概ね必修科目(多くの学校で必修となっている科目)

オンライン授業科目

7月25日	26	7月27日	7月28日	曜日
木	金	土	日	時限
社会調査の基礎(15) 高齢期の生活と福祉(15) 社会学入門(16) 現代フランス哲学に学ぶ(17) 博物館情報・メディア論(18) 総合人類学としてのヒト学(18) 高齢期の生活変動と社会的方策(19) 社会調査の基礎(19)	休 日	肢体不自由児の教育(14) 道徳教育の方法(15) 幼児理解の理論及び方法(15) 初歩の問題言語(17) 中国語Ⅱ(18) 現代の危機と哲学(18)	途上国を考える(14) 東アジアの政治社会と国際関係(16) 身近なネットワークサービス(16) 家族と高齢社会の法(17) 技術経営の考え方(17) 人体の構造と機能(18)	1 9:15 } 10:05
日本近世史(13) 心理臨床の基礎(14) 文化人類学(14) 教育の社会学(15) 自然言語処理(15) 著作権法(18) 自然言語処理(19) 教育社会学概論(19) 経済社会を考える(19)		文学のエコロジー(13) 韓国語Ⅰ(16) ラテン語の世界(16) フランス語Ⅰ(18) 耳から学ぶ英語(18) 新しい言語学(18) 博物館概論(19)	歴史と人間(14) 心理臨床とイメージ(16) 英語事始め(17) 「方丈記」と「徒然草」(18) データ構造とプログラミング(18)	2 10:25 } 11:15
入門線型代数(14) 錯覚の科学(14) 日本語とコミュニケーション(15) 生物環境の科学(16) データベース(17) リスクコミュニケーションの現在(18) 入門線型代数(19) コミュニケーション学入門(19)		博物館概論(11) 知的障害教育総論(15) 教育課程の意義及び編成の方法(15) 在宅看護論(17) 現代の家庭教育(18)	歴史からみる中国(13) 特別支援教育総論(15) 公衆衛生(15) 幼児教育の指導法(15) 市民生活と裁判(18) 特別支援教育総論(19) アメリカの芸術と文化(19)	3 11:35 } 12:25
通信概論(14) 少子社会の子ども家庭福祉(15) 暮らしに役立つバイオサイエンス(15) 西洋芸術の歴史と理論(16) 精神分析とユング心理学(17) 地球温暖化と社会イノベーション(18) 公衆衛生(19)		ケースで学ぶ現代経営学(12) 動物の科学(15) 乳幼児の保育・教育(15) Webのしくみと応用(15) 社会保険のしくみと改革課題(16) 環境問題のとりえ方と解決方法(17) コンピュータと人間の接点(18) 経営情報学入門(19) Webのしくみと応用(19)	生命分子と細胞の科学(13) 学力と学習支援の心理学(14) 情報社会のユニバーサルデザイン(14) 入門微積分(16) 障害を知り共生社会を生きる(17) グローバル経済史(18) 死生学のフィールド(18) 生命分子と細胞の科学(19) 情報社会のユニバーサルデザイン(19)	4 13:15 } 14:05
思春期・青年期の心理臨床(13) 証券市場と私たちの経済(15) 色と形を探究する(17) 法学入門(18) 情報・メディアと法(18) 思春期・青年期の心理臨床(19)		西洋音楽史(13) 心理臨床と身体の病(16) 都市と農山村からみる身近な経済(18) 現代人文地理学(18) ヨーロッパ文学の読み方一近代篇(19)	『古事記』と『万葉集』(15) 自然科学はじめの一步(15) 現代の行政と公共政策(16) 日本の古代中世(17) 疾病の成立と回復促進(17) 住まいの環境デザイン(18)	5 14:25 } 15:15
認知心理学(13) はじめての気象学(15) 基礎看護学(16) 日本文学の名作を読む(17) ファイナンス入門(17) 初歩からの化学(18) 知覚・認知心理学(19)		経済学入門(13) 力と運動の物理(13) 中高年の心理臨床(14) 日本語リテラシー(16) 社会福祉への招待(16) 人口減少社会の構想(17) 力と運動の物理(19)	場と時間空間の物理(14) 特別支援教育基礎論(15) 現代日本の教師一仕事と役割一(15) 海からみた産業と日本(16) 発達心理学概論(17)	6 15:35 } 16:25
リスク社会のライフデザイン(14) エネルギーと社会(15) 財政と現代の経済社会(15) 健康長寿のためのスポーツロジー(15) 博物館展示論(16) 乳幼児・児童の心理臨床(17) 財政と現代の経済社会(19) 健康長寿のためのスポーツロジー(19) エネルギーと社会(19)		臨床家族社会学(14) グローバル化と私たちの社会(15) エントロピーからはじめる熱力学(16) 生物の進化と多様化の科学(17) 睡眠と健康(17) コンピュータとソフトウェア(18) 心理と教育へのいざない(18)	デジタル情報と符号の理論(13) 日本の教育改革(15) 博物館教育論(16) 現代会計(16) 感染症と生体防御(18) 教育の行政・政治・経営(19) 情報理論とデジタル表現(19)	7 16:45 } 17:35
植物の科学(15) 上田秋成の文学(16) CGと画像合成の基礎(16) 物質・材料工学と社会(17) 健康と社会(17) 解析入門(18)管理会計(18)		博物館経営論(13) 都市・建築の環境とエネルギー(14) 情報学へのとびら(16) 教育のためのICT活用(17) 身近な統計(18) 心理学概論(18) 博物館経営論(19)	食安全性学(14) 心理カウンセリング序説(15) 問題解決の数理(17) 民法(17) 考古学(18) 社会統計学入門(18)	8 17:55 } 18:45

2019年度第2学期 単位認定試験時間割

学部

曜日 時限	1月23日 木	24 金	1月25日 土	1月26日 日
1 9:15 ～ 10:05	ヨーロッパ文学の読み方-古典篇(14) 看護学概説(16) 化学反応論-分子の変化と機能(17) 地域コミュニティと教育(18) グローバル化時代の日本国憲法(19)	休 日	リスク社会のライフデザイン(14) 博物館展示論(16) 乳幼児・児童の心理臨床(17) 財政と現代の経済社会(19) 健康長寿のためのスポーツロジ(19) エネルギーと社会(19)	錯覚の科学(14) 生物環境の科学(16) データベース(17) リスクコミュニケーションの現在(18) 入門線型代数(19) コミュニケーション学入門(19)
2 10:25 ～ 11:15	韓国朝鮮の歴史(15) 西洋哲学の起源(16) 日本美術史の近代とその外部(18) 生理心理学(18) 量子化学(19)		植物の科学(15) 上田秋成の文学(16) CGと画像合成の基礎(16) 物質・材料工学と社会(17) 健康と社会(17) 解析入門(18) 管理会計(18)	心理臨床の基礎(14) 文化人類学(14) 著作権法(18) 自然言語処理(19) 教育社会学概論(19) 経済社会を考える(19)
3 11:35 ～ 12:25	大学マネジメント論(14) 市民自治の知識と実践(15) ヨーロッパの歴史II(15) 政治学へのいざない(16) 現代社会の児童生徒指導(17) 化学結合論-分子の構造と機能(17)		社会学入門(16) 現代フランス哲学に学ぶ(17) 博物館情報・メディア論(18) 総合人類学としてのヒト学(18) 高齢期の生活変動と社会的方策(19) 社会調査の基礎(19)	肢体不自由児の教育(14) 道德教育の方法(15) 幼児理解の理論及び方法(15) 初歩のスペイン語(17) 中国語II(18) 現代の危機と哲学(18)
4 13:15 ～ 14:05	データの分析と知識発見(16) 危機の心理学(17) 初歩からの数学(18) 生活者のための不動産学への招待(18) 東南アジアの歴史(18)		ユーザ調査法(16) 小学校外国語教育教授基礎論(17) 現代を生きるための化学(18) 太陽と太陽系の科学(18) 日本政治外交史(19)	英語で描いた日本(15) 韓国語II(16) 初歩のイタリア語(17) 中国語I(18) ドイツ語I(19)
5 14:25 ～ 15:15	新しい時代の技術者倫理(15) ロシアの政治と外交(15) 文学批評への招待(18) 問題解決の進め方(19) 情報化社会と国際ボランティア(19) 文学・芸術・武道にみる日本文化(19)		幼児教育の指導法(15) 市民生活と裁判(18) 特別支援教育概論(19) アメリカの芸術と文化(19)	知的障害教育総論(15) 教育課程の意義及び編成の方法(15) 在宅看護論(17) 現代の家庭教育(18)
6 15:35 ～ 16:25	社会と銀行(14) 教育学入門(15) 日本の近現代(15) 非ユークリッド幾何と時空(15) 日本政治思想史(17) 地域福祉の現状と課題(18)		通信概論(14) 少子社会の子ども家庭福祉(15) 暮らしに役立つバイオサイエンス(15) 西洋芸術の歴史と理論(16) 精神分析とユング心理学(17) 地球温暖化と社会イノベーション(18) 公衆衛生(19)	学力と学習支援の心理学(14) 入門微積分(16) 障害を知り共生社会を生きる(17) グローバル経済史(18) 死生学のフィールド(18) 生命分子と細胞の科学(19) 情報社会のユニバーサルデザイン(19)
7 16:45 ～ 17:35	認知行動療法(14) ダイナミックな地球(16) 日本語アカデミックライティング(17) 舞台芸術の魅力(17) 初歩からの生物学(18) 統計学(19)		世界の中の日本(15) 生活環境と情報認知(15) 学校と法(16) パレスチナ問題(16) 権力の館を考える(16) 現代の国際政治(18)	証券市場と私たちの経済(15) 色と形を探究する(17) 法学入門(18) 情報・メディアと法(18) 思春期・青年期の心理臨床(19)
8 17:55 ～ 18:45	南北アメリカの歴史(14) フードシステムと日本農業(18) 哲学・思想を今考える(18) 国際理解のために(19) 社会保障の国際動向と日本の課題(19) 漢文の読み方(19)		場と時間空間の物理(14) 特別支援教育基礎論(15) 現代日本の教師-仕事と役割-(15) 海からみた産業と日本(16) 発達心理学概論(17)	はじめての気象学(15) 基礎看護学(16) 日本文学の名作を読む(17) フィナンス入門(17) 初歩からの化学(18) 知覚・認知心理学(19)

* 青字は2019年度新規開講科目

看護師養成所で概ね必修科目(多くの学校で必修となっている科目)

オンライン授業科目

27 月	1月28日 火	1月29日 水	1月30日 木	曜日 時限
休 日	博物館教育論(16) 現代会計(16) 感染症と生体防御(18) 教育の行政・政治・経営(19) 情報理論とデジタル表現(19)	社会心理学(14) アルゴリズムとプログラミング(16) 音を追究する(16) メディア論(18) 行政法(18) リハビリテーション(19)	災害看護学・国際看護学(14) 進化する情報社会(15) 発達科学の先人たち(16) 線型代数学(17) 経営学概論(18) 現代日本の政治(19)	1 9:15 ~ 10:05
	都市・建築の環境とエネルギー(14) 情報学へのとびら(16) 教育のためのICT活用(17) 身近な統計(18) 心理学概論(18) 博物館経営論(19)	食安全性学(14) 心理カウンセリング序説(15) 問題解決の数理(17) 民法(17) 考古学(18) 社会統計学入門(18)	情報化社会と教育(14) 映像コンテンツの制作技術(16) コンピュータの動作と管理(17) 子ども・青年の文化と教育(17) 食と健康(18) 数学の歴史(19)	2 10:25 ~ 11:15
	途上国を考える(14) 東アジアの政治社会と国際関係(16) 身近なネットワークサービス(16) 家族と高齢社会の法(17) 技術経営の考え方(17) 人体の構造と機能(18)	数値の処理と数値解析(14) 環境と社会(15) 多様なキャリアを考える(15) 乳幼児心理学(16) NPOマネジメント(17) 初歩からの宇宙の科学(17)	記号論理学(14) 地域と都市の防災(16) 社会福祉と法(16) 心理統計法(17) 雇用社会と法(17) 看護管理と医療安全(18)	3 11:35 ~ 12:25
	歴史と人間(14) 心理臨床とイメージ(16) 英語事始め(17) 「方丈記」と「徒然草」(18) データ構造とプログラミング(18)	教育心理学概論(14) 経験論から言語哲学へ(16) アジア産業論(17) 情報セキュリティと情報倫理(18) 都市と地域の社会学(18) 今日のメンタルヘルス(19) 現代経済学(19)	人格心理学(15) Walking with Writers(16) 微分方程式(17) 現代の内部監査(17) マーケティング論(17) 日本文学における古典と近代(18)	4 13:15 ~ 14:05
	中高年の心理臨床(14) 日本語リテラシー(16) 社会福祉への招待(16) 人口減少社会の構想(17) 力と運動の物理(19)	技術マネジメントの法システム(14) 初級簿記(16) 交通心理学(17) 物理の世界(17) 社会福祉実践の理論と実際(18) 人間にとって貧困とは何か(19)	環境の可視化(15) 生活経済学(16) 運動と健康(18) フランス語II(18) ドイツ語II(19) 博物館資料保存論(19)	5 14:25 ~ 15:15
	動物の科学(15) 乳幼児の保育・教育(15) 社会保険のしくみと改革課題(16) 環境問題のとりえ方と解決方法(17) コンピュータと人間の接点(18) 経営情報学入門(19) Webのしくみと応用(19)	韓国語I(16) ラテン語の世界(16) フランス語I(18) 耳から学ぶ英語(18) 新しい言語学(18) 博物館概論(19)	日本語概説(15) カリキュラムと学習過程(16) 遠隔学習のためのパソコン活用(17) 戦後日本教育史(18) 国際法(19) 計算の科学と手引き(19)	6 15:35 ~ 16:25
	心理臨床と身体の病(16) 都市と農山村からみる身近な経済(18) 現代人文地理学(18) ヨーロッパ文学の読み方-近代篇(19)	量子と統計の物理(15) 認知症と生きる(15) 世界文学への招待(16) 初歩からの物理(16) 国際経営(19) 宇宙の誕生と進化(19)	生活における地理空間情報の活用(16) ソーシャルシティ(17) 疾病の回復を促進する薬(17) 日常生活のデジタルメディア(18) レソリエンスの諸相(18) グローバル化と日本のものづくり(19)	7 16:45 ~ 17:35
	臨床家族社会学(14) グローバリ化と私たちの社会(15) エントロピーからはじめる熱力学(16) 生物の進化と多様化の科学(17) 睡眠と健康(17) コンピュータとソフトウェア(18) 心理と教育へのいざない(18)	『古事記』と『万葉集』(15) 自然科学はじめの一步(15) 現代の行政と公共政策(16) 日本の古代中世(17) 疾病の成立と回復促進(17) 住まいの環境デザイン(18)	心理学研究法(14) 移動と定住の社会学(16) 刑事法(16) 比較認知科学(17) 日本仏教を捉え直す(18) デジタル情報の処理と認識(18) 健康への力の探究(19)	8 17:55 ~ 18:45

2019年度第1学期 単位認定試験時間割

大学院

曜日 時限	7月19日 金	
1 9:15 ↓ 10:05	臨床心理面接特論(13) 成人発達心理学(17) 公共哲学(17) 臨床心理面接特論I(19)	臨床心理学 人間発達科学 社会経営科学 臨床心理学
2 10:25 ↓ 11:15	アフリカ世界の歴史と文化(13) 人間発達論特論(15) コンピューティング(15) 臨床心理学特論(17) コンピューティング(19) 成人の発達と学習(19)	人文学 人間発達科学 情報学 自然環境科学 臨床心理学 情報学 人間発達科学
3 11:35 ↓ 12:25	食健康科学(15) 現代社会心理学特論(15) 道德教育の理念と実践(16) データベースと情報管理(16)	生活健康科学 自然環境科学 人間発達科学 臨床心理学 人間発達科学 情報学
4 13:15 ↓ 14:05	環境工学(13) 国文学研究法(15) 生活変動と社会福祉(18) 情報学の技術(18) 臨床心理面接特論II(19)	社会健康科学 人文学 生活健康科学 情報学 臨床心理学
5 14:25 ↓ 15:15	現代物理学の論理と方法(13) 中世・ルネサンス文学(14) 音楽・情報・脳(17) 福祉政策の課題(18) 現代物理の展望(19)	自然環境科学 人文学 情報学 生活健康科学 自然環境科学
6 15:35 ↓ 16:25	ソフトウェア工学(13) 社会的協力論(14) スポーツ・健康医科学(15) 心理臨床における法と倫理(17) スポーツ・健康医科学(19) ソフトウェア工学(19)	情報学 社会経営科学 生活健康科学 臨床心理学 生活健康科学 情報学
7 16:45 ↓ 17:35	発達心理学特論(15) 計算論(16) 生活リスクマネジメント(17) 公共政策(17)	人間発達科学 自然環境科学 生活健康科学 社会経営科学
8 17:55 ↓ 18:45	教育文化の社会学(17) 現代訴訟法(17) 臨床心理学研究法特論(18)	人間発達科学 社会経営科学 臨床心理学

7月20日 土	
障害児・障害者心理学特論(13) 知的創造サイクルの法システム(14) 生活ガバナンス研究(15) 異言語との出会い(17) 障害児・障害者心理学特論(19)	臨床心理学 情報学 生活健康科学 人文学 臨床心理学
美学・芸術学研究(13) 家族生活研究(15) 地球史を読み解く(16) 教育心理学特論(18) 美学・芸術学研究(19)	人文学 生活健康科学 自然環境科学 人間発達科学 人文学
海外の教育改革(15) 精神医学特論(16) 経済政策(17)	人間発達科学 生活健康科学 臨床心理学 社会経営科学
家族心理学特論(14) 地域の発展と産業(15) 教育行政と学校経営(16)	臨床心理学 社会経営科学 人間発達科学
ヘルスリサーチの方法論(13) 日本史料論(15) 投影査定心理学特論(15) 人的資源管理(18) ヘルスリサーチの方法論(19)	生活健康科学 人文学 臨床心理学 社会経営科学 生活健康科学
学校臨床心理学・地域援助特論(15) 健康・スポーツ科学研究(17) 東アジア近世近代史研究(17) 生涯学習の新たな動向と課題(18)	臨床心理学 人間発達科学 生活健康科学 人文学 人間発達科学
数理科学(15) 心理・教育統計法特論(15) 道を極める日本人の心の歴史(16)	自然環境科学 臨床心理学 人間発達科学 人文学
健康科学(15) 人類文化の現在:人類学研究(16) カリキュラム編成論(17) 都市社会構造論(18) コミュニティヘルスケア研究(19)	生活健康科学 人文学 人間発達科学 社会経営科学 生活健康科学

2019年度第2学期 単位認定試験時間割

大学院

曜日	1月21日	
時限	火	
1 9:15 ↓ 10:05	人類文化の現在:人類学研究(16) カリキュラム編成論(17) 都市社会構造論(18) コミュニティヘルスケア研究(19)	人文学 人間発達科学 社会経営科学 生活健康科学
2 10:25 ↓ 11:15	知的創造サイクルの法システム(14) 生活力・ナンス研究(15) 異言語との出会い(17) 障害児・障害者心理学特論(19)	情報学 生活健康科学 人文学 臨床心理学
3 11:35 ↓ 12:25	家族生活研究(15) 教育心理学特論(18) 美学・芸術学研究(19)	生活健康科学 人間発達科学 臨床心理学 人文学
4 13:15 ↓ 14:05	海外の教育改革(15) 精神医学特論(16) 経済政策(17)	人間発達科学 生活健康科学 臨床心理学 社会経営科学
5 14:25 ↓ 15:15	家族心理学特論(14) 地域の発展と産業(15) 教育行政と学校経営(16)	臨床心理学 社会経営科学 人間発達科学
6 15:35 ↓ 16:25	日本史史料論(15) 投影査定心理学特論(15) 人的資源管理(18) ヘルスリサーチの方法論(19)	人文学 臨床心理学 社会経営科学 生活健康科学
7 16:45 ↓ 17:35	学校臨床心理学・地域援助特論(15) 健康・スポーツ科学研究(17) 東アジア近世近代史研究(17) 生涯学習の新たな動向と課題(18)	臨床心理学 人間発達科学 生活健康科学 人文学 人間発達科学
8 17:55 ↓ 18:45	数理科学(15) 心理・教育統計法特論(15) 道を極める—日本人の心の歴史(16)	自然環境科学 臨床心理学 人間発達科学 人文学

1月22日	
水	
教育文化の社会学(17) 現代訴訟法(17) 臨床心理学研究法特論(18)	人間発達科学 社会経営科学 臨床心理学
成人発達心理学(17) 公共哲学(17) 臨床心理面接特論I(19)	人間発達科学 社会経営科学 臨床心理学
アフリカ世界の歴史と文化(13) 臨床心理学特論(17) コンピューティング(19) 成人の発達と学習(19)	人文学 臨床心理学 情報学 自然環境科学 人間発達科学
食健康科学(15) 現代社会心理学特論(15) 道徳教育の理念と実践(16) データベースと情報管理(16)	自然環境科学 人間発達科学 臨床心理学 情報学
国文学研究法(15) 生活変動と社会福祉(18) 情報学の技術(18) 臨床心理面接特論II(19)	人文学 生活健康科学 情報学 臨床心理学
中世・ルネサンス文学(14) 音楽・情報・脳(17) 福祉政策の課題(18) 現代物理の展望(19)	人文学 情報学 生活健康科学 自然環境科学
社会的協力論(14) 心理臨床における法と倫理(17) スポーツ・健康医科学(19) ソフトウェア工学(19)	社会経営科学 臨床心理学 生活健康科学 情報学
発達心理学特論(15) 計算論(16) 生活リスクマネジメント(17) 公共政策(17)	人間発達科学 臨床心理学 自然環境科学 生活健康科学 社会経営科学

2019年度カレンダー

第1学期

4月							5月							6月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
		1	2	3	4	5	6			1	2	3	4							1	
7	8	9	10	11	12	13		5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
14	15	16	17	18	19	20		12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
21	22	23	24	25	26	27		19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
28	29	30						26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29
															30						
7月							8月							9月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
	1	2	3	4	5	6					1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	
7	8	9	10	11	12	13		4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
14	15	16	17	18	19	20		11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
21	22	23	24	25	26	27		18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
28	29	30	31					25	26	27	28	29	30	31	29	30					

第2学期

10月							11月							12月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
			1	2	3	4	5						1	2	1	2	3	4	5	6	7
6	7		8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14
13	14		15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21
20	21	22		23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28
27	28		29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	29	30	31				
1月							2月							3月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
			1	2	3	4							1	1	2	3	4	5	6	7	
5	6		7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	8	9	10	11	12	13	14
12	13		14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	15	16	17	18	19	20	21
19	20	21	22	23	24	25		16	17	18	19	20	21	22	22	23	24	25	26	27	28
26	27	28	29	30	31			23	24	25	26	27	28	29	29	30	31				

● 閉所日 ■ 単位認定試験（学部） ■ 単位認定試験（大学院） ■ 面接授業

案内図



- ・ 徒歩：甲府駅北口から約20分
- ・ 山梨交通バス：甲府駅北口から約5分



放送大学山梨学習センター



〒400-0016 甲府市武田4-4-37
(山梨大学甲府キャンパス内)
TEL 055-251-2238
FAX 055-251-2193

URL: <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/yamanashi/>
E-mail yamanashi-sc@ouj.ac.jp